



◆ CONTENTS

01. 特集：プチ旅行

- ・やっぱり花より団子ツアー
- ・乗ればわかる！バスハイクツアー
- ・ドライブで聴きたい曲 BEST3

02. 天神優人：清水香織さん

女流プロ雀士

03. お昼のオアシス

04. fashion

- ◆ 天神発!早耳映画情報
- ◆ 天神ぶらぶら
- ◆ プレゼント& アンケート
- ◆ エスプレッソを片手に
- ◆ おやじのアンテナ

プチ旅行

秋は、人々の旅心をかきたてる季節。そう、松尾芭蕉のように日本中を、いや願わくば世界中を行脚してまわりたい、そんな途方もない夢を描いたりして。しかし時間とお金に限りがある私たちには、ちと厳しい。そこで！すばやく1日で秋を堪能できる庶民的な「秋の行楽地を巡るプチ旅行」を計画してみてはいかがでしょうか？

今回もエスプレッソスタッフが、日帰りドライブ～朝倉・浮羽編～&バスツアーに潜入～コスモスと果物三昧～を体験してまいりました。さあ、みんなで一緒に燃えるような秋を探しに出かけよう。

01 やっぱり 花より団子ツアー ▶

02 乗ればわかる! バスハイクツアー▶

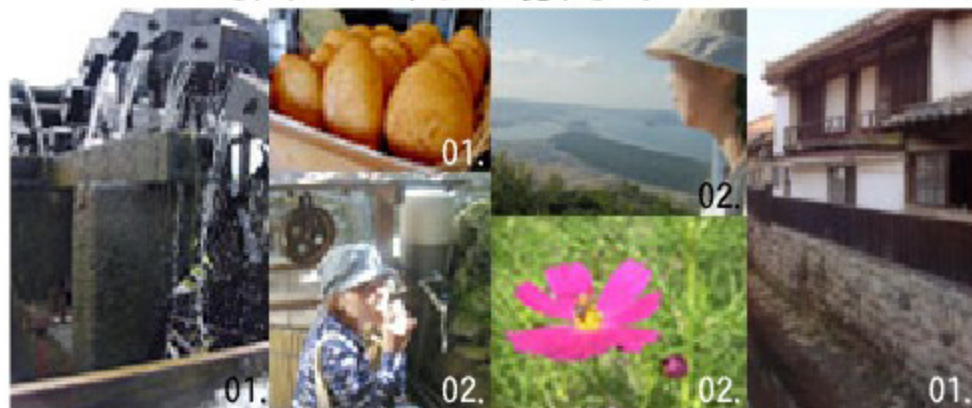
03 ドライブで聴きたい曲 BEST3 ▶



VIDEO1 ▶

STOP

※動画に不具合のある場合はWindows Media Player9(無料)をダウンロードしてご覧下さい。



※写真をクリックすると動画を見ることができます。

Media Player版 ▶01

天神優人

～あの人の素顔～

読みと強気のセメントクイーン

麻雀 第27代王位を獲得した 清水香織さん



背中に龍の刺繍がほどこされた真っ赤な革の上下に身を包み、颯爽と現れた清水さん。サッと組みかえたその足にはペデュキュアが…。プロ雀士という肩書からは想像もつかないエレガンスさと、麻雀について熱く語るキラキラした瞳にホレボレしました。

by akiko kosaka

話していて、心地良い緊張感がある人だった。第27代王位を獲得、麻雀史上初の女性G1タイトルホルダー清水香織。別名“セメントクイーン”という異名を持ち、日本プロ麻雀連盟九州本部の副本部長でもある。麻雀歴は10年、きっかけは大学時代のバイトというから人生は面白い。「最初は下手くそで才能ないじゃんって言われて…。でも負けず嫌いだったので、一人でこっそり店に通って勉強してました」。一度は就職したものの、やはり麻雀の世界が忘れられず、プロテストを受け一発合格。プロ雀士、清水香織の誕生だ。

麻雀の魅力を尋ねると「しびれる感覚ですかね」というソクソクするような一言が返ってきた。「読みが当たった時のしびれる感覚がやめられないんです。もちろん外れて痛い思いをすることもありますがね」。アイドルのような笑顔から放たれる言葉は、どれも勝負師の台詞。そんな彼女の麻雀は“スーパー攻撃型”。一番好きなのは「タイトル戦の決勝のような崖っぷちの勝負」だという。優勝した時には驚いたが、結局は「日々の努力と当日ベストを尽くせたという細かい積み重ねがあったから」と清水さん。しかし一方で、麻雀ほど「運」が勝敗を分けるゲームはない。けれど、どんな勝負でもプロとしての責任がある。「例えば同じ負けるにしても、プロなりの“魅せる負け方”というのがあるんです。どうしようもない時でも、最後まで自分らしい負けの型づくりをしたい、難しいんですけどね」。

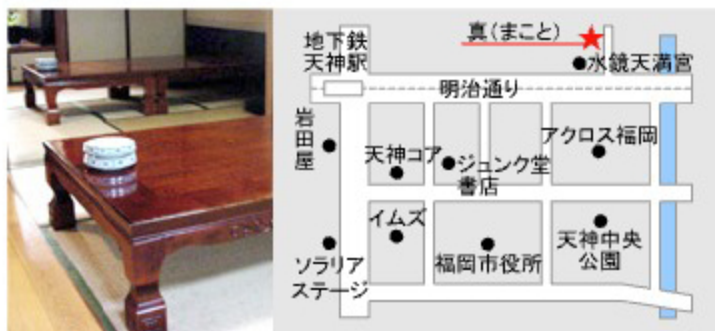
今後は、実力派の女性プロ雀士の育成を目指している。艶やかな姿に秘められた固い信念。しなやかな女雀士の挑戦は、これからも続いていく。

清水さんの対戦日記が読めるHPはこちら。
<http://www.bludra.com/>

Media Player版 ▶01

お昼のオアシス

真(まこと)



中央区天神1-15-3
 (アクロスの前の水鏡水天宮)
 TEL (092)712-0201
 営業時間 11:00~14:00/17:00~22:30
 定休日 日・祝
 鯖の一枚焼き 800円



この時期になると食べたくなる真の「鯖の一枚焼き」。モクモクと立ち上る「鯖を焼く煙」で「ああ、秋だなあ…」って季節を感じれるのだ。

詳しく見る



by Sumiko Umeno



■ fashion advisor **しもむら ひろみさん**

※しもむらさんの写真をクリックするとプロフィールが見られます。



これからは、重ね着を楽しめる季節です。
それに伴って色合わせのバランスをチェックしてみましょう。

ななよさん

(23歳/会社員)

Point

白のブーツと合わせて重くならないようにしました。



さなえさん

(26歳/会社員)

Point

はらこのバックとブーツで一足早く秋スタイル。



なおこさん

(21歳/会社員)

Point

重ね着を楽しんでいます。



かずみさん

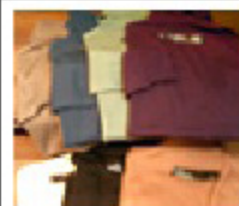
(23歳/販売員)

Point

小物使いで秋を演出してみました。



しもむらさん
オススメ
グッズ



何枚も欲しくなるきれいな色です。
ピースのポイントがとても素敵です。
GALLARDAGALANTEオリジナルニット 11,000円
SHOP 博多井筒屋2F
GALLARDAGALANTE 092-412-8024



デザイン性のあるニットキャップで、個性的に!
左 GALLARDAGALANTEオリジナル 8,900円
右 NOBODY 15,900円

e-mail: info@espre.jp



当ページ掲載作品募集中。詳しくはmailにてお問合せください。



STOP

インファナル・アフェア play▶



Media Player版 ▶01

キル・ビル play▶



▶02

ドッペルゲンガー play▶



©2002 『ドッペルゲンガー』製作委員会

▶03

マトリックス
レボリューションズ play▶



©2003 Warner Bros. Ent. All Rights Reserved
©2003 Village Roadshow Films (BV) Ltd.

▶04

- ✓ どきどき館内へ
- ✓ お米のススメ
- ✓ 無料で?
- ✓ 遊んで学べる
- ✓ 食のコーナー
- ✓ ごはんちゃん!
- ✓ お米商品いろいろ

- >> MAP・開館時間など
- >> お米ギャラリーのホームページへ

お米ギャラリー-天神

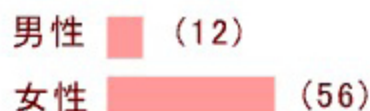
〇月〇日。今日は無料で楽しめるスポットを見つけました。お米の情報が盛りだくさんの所で、食べたり遊んだり…随分居座って楽しかったです。お米博士&お米美人を目指すべくまた行こうと思います(つづく)。



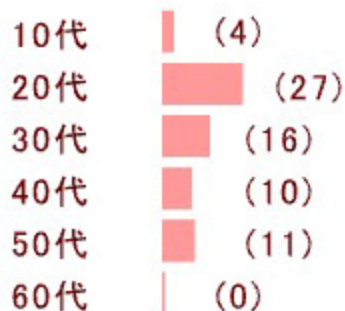


エスプレッソ アンケート結果 ～ September ～

性別



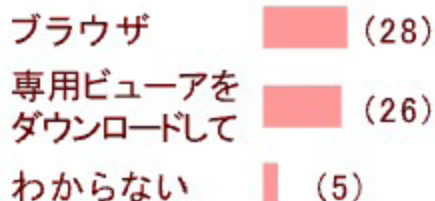
年齢



エスプレッソは どこで視聴されていますか？



どのようにして ご覧になっていますか？



どこでエスプレッソを お知りになりましたか？



どのコーナーがお好きですか？



アンケートにお答えいただいた方に
抽選で図書券をプレゼント！

応募期間

2003年10月10日(金)

↓

2003年11月6日(木)



アンケートはこちら

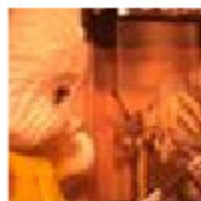
☪ エスプレッソを片手に

スタッフリレーコラム

今回、バスハイクツアーに行く事が決まって、久しぶりに遠足気分と旅行気分を同時に味わいました。ここ最近（約1~2年）知らない街に行ったりしていない私はもうウハウハです！まず初めに、永島嬢と、どこへ行くかターゲット絞り（ここで旅行気分をまず味わいました）。何がしたいか？なにがしたいのでしょうか？やっぱり "肉"肉が食べたいのです。私は、"と、そんなこんなで（どんな？）今回特集記事になっているバスハイクツアーに参加決定（バーベキュー付）。

次に来るハチハチ感バスハイクに持っていくお菓子。ちびっ子時代は大体相場300円。しかし。もう大人です！いい大人なのです！好きなだけお菓子を買えます。前の日に意味もなく自分の中で前夜祭と称し、お菓子を衝動買い。

旅の楽しみ。そしてお供といえばやっぱりお菓子でしょう！○ッキー。ポテ○チップス。ナイスチョイスです！アメも忘れてはいけません！都○んぶにチョコレート。ビーフジャーキー最高です！関係ないのにアイスも買い込み。調子こいて買いまくりましたが。。。結局重たいので次の日は買った中の厳選した3~4種類くらいしか持っていかなかったのですがね。残りのお菓子は引き出しの中に…もう無いです。



by Shinobu
Kawata

おやじのアンテナ

久しぶりに東京の表参道を歩いた。私が学生だったころは、「若者の街」といえば新宿であり、表参道なんて全然ダサイ町だった。それが今や、渋谷と並んで先端情報の発信地というのだから、時代は変わった。

そんなことを思いながら歩いていると、風景にどうも違和感がある。ナンだろう。首を傾げていると、同じ会場場所に向かう某新聞社のAさんと出食わした。「やあ、どうもどうも、どもどもども」。オヤジ語の挨拶を交わし、相手のいでたちを見て、違和感の理由が分かった。そうか！アタマとスーツだ！そう。この先端エリアは、金銀赤青、色とりどりの、ちょんまげ、ロンゲ、ベッカムヘア、はたまたタトゥーを入れたスキンヘッド。理解不能の珍妙なファッションに身を包んだ「ギョーカイ人」がうようよいる。逆に、髪をきっちり七三に分け、ドブネズミ色のスーツに地味なネクタイというサラリーマンは、ほとんどいない。「いやあ、僕らみたいに、この町並みにそぐわない人間は、逆に目立ちますよね」とA氏。おいおい、それでいいのか？

そういえば、テレビドラマによく使われる銀座の有名レストランに、オヤジ8人ばかりで入ったことがある。店内はガラガラなのに、なぜか景観が悪い奥のテーブルに案内された。ボーイに「こんな隅っこじゃなく、通りに面したウィンドウのそばがいいなあ」と頼んだら、この若造、何て言ったと思います？「大変申し訳ないのですが、お客様たちがウィンドウ近くに座られますと、店の雰囲気が損なわれますので、ご遠慮ください」。そうかい、そうかい。よーっく分かった。わしらオヤジは、ゴミクズ以下なのね。

ひるがえって、天神。ここはいい。若者たちもオヤジたちも、とりあえず共存している（ような気がする）。娘たちも、しっかり国境線を引いて「この線からこっちに来ちゃ、だめだからね！」とスルドイ警報を発しながらも、一応、オヤジの生存を黙認してくれている（ような気がする）。

「老人を笑うな。いずれ進む道だ。若者を叱るな。通って来た道だ」てな言葉を、最近どこかで聞いた。老若男女が、それぞれのスタンスで共存するエリア天神。居心地がいい。

（スカG）（了）

